

第3期登別市地域福祉実践計画「きずな」

全市きずな計画  
1年目（平成28年度）評価書

社会福祉法人登別市社会福祉協議会・きずな推進委員会

## 1. はじめに ～進捗管理の目的～

登別市地域福祉実践計画「きすな」の進捗管理（評価）は、きすな推進委員会において行うことになっています。

第2期きすな計画評価委員会において、第3期全市きすな計画に定める各事業の執行状況については、1年毎に評価することとなり、きすな推進委員会において計画の進捗管理（評価）の協議をお願いいたします。

## 2. 進捗管理の実施日時・場所・時間・委員会名

- (1) 日 時 平成29年11月14日（火） 13時30分
- (2) 場 所 登別市総合福祉センターしんた21 多目的ホール
- (3) 委員会名 きすな推進委員会

## 3. 進捗管理方法の内容

### (1) 評価の視点

第3期計画の基本目標として定めた方向性や実施計画の内容等について、計画どおり実施されているかということに焦点を当て、点検を行い、その結果について第3期全市きすな計画1年目（平成28年度）評価書を作成しました。

### (2) 評価の対象

基本計画1～5及び個別の実践事業91事業を評価の対象といたしました。

### (3) 評価の基準

評価の基準は、次のとおりです。

①個別の実践事業について、方向性どおりに推進されていれば「基準点」の評価になる。（例：普通に評価できる）

⇒成果を判定する上での分岐点

②ただし新規の場合は、事業が実現した段階にあれば基準点を超える上位の評価になる。（例：かなり評価できる～非常に評価できる）

③方向性に到達しない場合や指標に達成しない場合等は、基準点を下回る評価になる。（例：少し評価できる～ほとんど評価できない）

### (4) 評価の手順

評価の手順は、次のとおりです。

①基本計画ごとの実践事業（個別事業）の評価を実施する。

②次に、基本計画ごとの実践事業の評価を終了した段階で、実践した事業全体の進捗状況を勘案し「当該基本計画」の全体評価を行う。

### (5) 評価の仕組み

実践事業の個別評価及び基本計画の全体評価は、次の5段階といたしました。

#### ・評価区分表

評価内容	得点
非常に評価できる	5
かなり評価できる	4
普通に評価できる	3
少し評価できる	2
ほとんど評価できない	1



## 4. 進捗管理方法の内容

(1) 実践計画進捗管理総括表・・・・・・・・・・・・・・ 1.

(2) 基本計画進捗状況評価表

基本目標1・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2.

基本目標2・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4.

基本目標3・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6.

基本目標4・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9.

基本目標5・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11.

平成28年度 第3期登別市地域福祉実践計画「きずな」進捗管理 総括表

登別市基本目標

ひとりの小さな幸せを希望に紡ぐきずなでまちづくり

基本理念

心豊かに「きずな」を紡ぎ護り育てることで、一人ひとりを大切にする共生共存のまちをつくります

基本目標の項目	基本計画の項目	評価の内訳（具体的事業の評価集計）					総合評価				
		【5】	【4】	【3】	【2】	【1】	5	4	3	2	1
基本目標 1 きずなを育て確かめる ～福祉の意識と関心を高める取り組み～	①きずな活動の推進	1	4				5	4	3	2	1
	②きずな（地域）の拠点づくり		1								
	③きずな共育（福祉教育）の推進	2	3	1							
	④地域活動を支える人材・ボランティア育成	1	4								
	小計	4	12	1	0	0					
基本目標 2 きずなを護り強める ～支え合う地域をつくる取り組み～	⑤小地域ネットワーク活動の推進		3				5	4	3	2	1
	⑥社会参加の促進		4								
	⑦孤立させない地域づくり		1								
	⑧防災活動の推進		2	1	1						
	小計	0	10	1	1	0					
基本目標 3 きずなを紡ぎ支える ～困りごとを解決する取り組み～	⑨福祉相談体制の強化	2	4	1			5	4	3	2	1
	⑩地域包括ケアシステムの構築	2	4	3							
	⑪暮らしを支える福祉事業の実施	2	4								
	小計	4	8	4	0	0					
基本目標 4 きずなを結び深め広げる ～地域の協力体制をつくる取り組み～	⑫ボランティアセンター機能の充実		5				5	4	3	2	1
	⑬身近な暮らしの情報ネットワークの促進		3								
	⑭各機関とのネットワーク		3								
	小計	0	11	0	0	0					
基本目標 5 きずなを高め保障する ～きずなの推進体制を確立する取り組み～	⑮社協の基盤強化		4				5	4	3	2	1
	⑯財政基盤整備	1	3								
	⑰地域福祉を推進するための職員の配置と資質向上		3								
	⑱地域福祉実践計画の進捗管理と地域福祉計画との連携		1								
	小計	1	11	0	0	0					
		【5】	【4】	【3】	【2】	【1】	5	4	3	2	1
		9	52	6	1	0	273	68	4.01		

基本目標1 きずなを育て確かめる

基本計画	推進項目	実施事業及び活動	実践事業の実績及び評価			総合評価									
			H28年度事業名及び内容	事業区分	評価		結果								
1	きずな活動の推進	1 全市におけるきずなの推進	1 きずな推進委員会の運営	自主事業	4	『継続』 きずな推進委員会を設置し、きずな計画の全市展開に取り組むことができた。今後も関係者の参加促進など推進委員会の体制強化を図り第3期計画の推進に取り組む。 【H28年度実績／推進委員会・リーダー会議 各2回開催】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>計</th> <th>事業数</th> <th>平均点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本目標1</td> <td>71</td> <td>17</td> <td>4.18</td> </tr> </tbody> </table>	区分	計	事業数	平均点	基本目標1	71	17	4.18
			区分	計	事業数	平均点									
			基本目標1	71	17	4.18									
	2 町内会、民生委員児童委員協議会との協働	自主財源	4	『継続』 きずな推進の中核である町内会と民生委員児童委員協議会の協働体制を構築した。きずな推進委員会に町内会、民生委員の参画を依頼するとともに、校区委員会でも単位町内会からの参加を促進した。											
	3 きずな専門委員会の運営	自主事業	4	『継続』 住民座談会や町内会の福祉事業へきずな専門委員を派遣し活動の支援を行うことができた。											
2 小学校区におけるきずなの推進	4 校区きずな推進委員会の運営	自主事業	4	『継続』 市内8小学校区ごとに校区推進委員会を開催することができた。											
	5 住民座談会の開催	自主事業	5	『継続』 小学校区毎に住民座談会を開催し、地域の課題の共有や課題の解決に向けて支え合い活動を確立した。											
2	きずな(地域)の拠点づくり	3 小学校区の拠点整備	6 活動拠点の整備	[事業無し] 活動拠点を整備する。	自主事業	4	『継続』 鷺別小学校区の「透禅寺」を拠点に「しゃべっ茶お」を開設できた。また、次年度に向けて、商業施設における地域福祉の拠点の整備に向けて準備を進めることができた。	基本計画1	21	5	4.20				
3	きずな共育(福祉教育)の推進	4 市民にきずなを広める活動	7 きずな計画の推進状況を市民に伝える取り組み	[2-1-1-4]きずな市民大集会 きずな計画の進捗状況や具体的な取組を広く市民に周知するとともに、地域課題の共通認識と解決に向けた市民主体の取り組みについて協議する。	自主事業	5	『継続』 計画策定年として「きずな市民大集会」として開催し、市民に向けた第3期計画の完成報告と活動の参画を呼び掛けた。 【H28年度実績／特別記念講演、全市校区計画報告など】	基本計画2	4	1	4.00				
			8 ふれあいフェスティバル	[2-7-1-1]ふれあいフェスティバル2018 すべての市民が地域社会の一員として自立し、安心して暮らせる「ふれあいと支え合い、心豊かな福祉社会」の実現をめざし開催する。	自主事業	5	『継続』 52団体の福祉関係団体による実行委員会により実施し、1,200名を超える方々が参加した。	基本計画3	25	6	4.17				
			9 社会福祉大会の開催	[1-4]社会福祉大会事業 福祉豊かなまちづくりをめざし、市民及び福祉関係者による福祉活動への参加を促進し、相互理解と連携を深めるとともに、社会福祉の発展に功績のあった方々を表彰するため社協事業として隔年開催する。	-	-	-	基本計画4	21	5	4.20				

基本目標1 きずなを育て確かめる

基本計画	推進項目	実施事業及び活動	実践事業の実績及び評価			総合評価		
			H28年度事業名及び内容	事業区分	評価		結果	
		10 きずなPR活動	[2-1-1-5]きずなPR事業 市民主体の福祉のまちづくりの取り組みを広く市民に周知するとともに地域福祉活動への参加喚起を図るため、地域イベントへの参画を行う。	自主事業	4	『継続』 きずなを広く市民に周知し地域福祉活動への参加を図るため、地獄まつりへの参画や赤い羽根テント助成事業などを実施することができた。 【H28年度実績/赤い羽根テント助成:4町内会】		
3	きずな共育(福祉教育)の推進	5	福祉意識の醸成と啓発	11 福祉教育の推進	[3-1-1-1]福祉教育推進事業(出前福祉講座) 市民の福祉意識の向上とボランティア活動の参加促進をめざし、小中学校や企業・団体等に対し講師派遣等の支援を行う。	自主事業	4	『継続』 出前福祉講座等の実施により、総合学習の時間における授業内容の企画等を行うことができた。 【平成28年度実績/受講団体9箇所、延べ参加者数382名】
				12 ボランティア学習の普及・啓発	[3-1-1-3]学生ボランティア研修会 学生のボランティア活動参加促進を目的に、お互いがボランティア意識を高め合えるような研修会を開催する。	自主事業	4	『継続』 学生が参加しやすい、ボランティア意識を高める研修会を開催することができた。今後も実施し、学生のボランティア普及をめざす。 【平成28年度実績/1回開催、参加者26名】
				13 ボランティア体験事業の推進	[3-1-1-1]ボランティア体験事業 ボランティア活動の広がりをめざし、誰もが気軽に楽しくボランティア活動を体験できる事業を実施する。	自主事業	3	『継続』 関係機関・団体との連携強化によって参画団体数、体験メニューを実施することができた。 【H28年度実績/体験プログラム数45種類、協力団体41団体】
				14 福祉の職場体験や就業体験の実施	[事業なし]	-	-	-
4	地域福祉活動を支える人材・ボランティアの育成	6	地域の福祉力を高める人材育成	15 ボランティア活性化のための人材養成	[3-2-1-2]ボランティアアドバイザー養成研修会 ボランティア活動への意欲や不安、疑問を持つ人の相談に応じ、活動の後押しや誘いを行う「ボランティアアドバイザー」の養成を行う。	自主事業	4	『継続』 ボランティアアドバイザー養成研修等を実施することができた。 【H28年度実績/年1回開催、参加者26名】
				16 生活支援サービスを支える担い手の発掘・養成	[2-10-2]生活支援担い手養成研修会 介護予防の視点に立ち、地域住民の暮らしを支える生活支援サービスの担い手養成を目的に開催する。	自主事業	4	『継続』 新規事業の取り組みであったが、居場所づくり、買物支援、移動(運転)を具体的なテーマを設定し実施することができた。総合事業の動向を注視する。 【H28年度実績/参加者62名】
				17 認知症や障がいの理解と普及・啓発	(再掲)[3-1-1-1]福祉教育推進事業(出前福祉講座) 市民の福祉意識の向上とボランティア活動の参加促進をめざし、小中学校や企業・団体等に対し講師派遣等の支援を行う。	自主事業	4	(再掲)『継続』 出前福祉講座等の実施により、総合学習の時間における授業内容の企画等を行うことができた。 【平成28年度実績/受講団体9箇所、延べ参加者数382名】
				18 ふれあいいきいきサロンを支える人の養成	[2-5-1-2]サロンサポーター養成研修会及び連絡会の開催 サロン運営に携わるサロンサポーターの養成及び日頃の活動の情報交換や交流を通じたサロンの活性化を図ることを目的に各種事業を開催する。	自主事業	5	『継続』 連絡会を年3回定期開催することができた。サロンサポーター同士の研鑽を深めることができた。 【H28年度実績/サロンサポーター登録数261名】
				19 子育て支援を支える人の養成	[2-6-1-2]ふれあい子育てサロン支援者養成研修 住民主体の子育て支援の担い手を養成し、新規サロンの開設や地域における子育ての基盤整備を目指し開催する。	自主事業	4	『継続』 市内4ヶ所の子育てサロンを継続することができた。

基本目標2 きずなを護り強める

基本計画	推進項目	実施事業及び活動	実践事業の実績及び評価				総合評価																				
			H28年度事業名及び内容	事業区分	評価	結果																					
5 小地域ネットワーク活動の推進	7 地域で支援が必要な方に対する見守り・安否確認の体制強化	20 小地域ネットワーク活動推進事業	[2-4-1-2]小地域ネットワーク事業の推進 小地域ネットワーク活動を実施する町内会を応援する体制整備を進めるとともに、福祉関係団体との連携強化を図る。	自主事業	4	『継続』 「きずなづくり台帳」と「きずな安心キット」を活用した平常時から災害を意識した見守り活動として、市、連町、民協、社協の4者合意のもと全市展開をめざし実施することができた。 【累計実績/67町内会、台帳配布4,639枚、キット配布数2,604個】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>計</th> <th>事業数</th> <th>平均点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本目標2</td> <td>41</td> <td>11</td> <td>3.73</td> </tr> </tbody> </table>	区分	計	事業数	平均点	基本目標2	41	11	3.73												
		区分		計	事業数			平均点																			
		基本目標2	41	11	3.73																						
		21 災害時や緊急時を意識した地域の支え合いづくり	自主事業	4																							
		22 小地域ネットワーク研修会及び関係者連絡会の開催	[2-4-1-3]小地域ネットワーク研修会・連絡会 福祉委員など小地域ネットワーク活動の実践者が集い、事例検討や情報交換を通して日々の活動研鑽を深める。	自主事業	4	『継続』 市内外の具体的な実践発表を行い、福祉部の活動、支え合いマップづくりなどをテーマに開催することができた。 【H28年度実績/年1回開催、96名参加】																					
23 企業等と連携した見守り支援体制の構築	[事業無し]	-	-	-																							
24 軽微な支え合いの仕組みの検討	[事業無し]	-	-	-																							
6 社会参加の促進	8 尊厳ある居場所づくり	25 ふれあい・いきいきサロン	[2-5-1-1]ふれあい・いきいきサロン推進事業 地域で生活している高齢者等と地域住民が気軽に集まり、ふれあいを通して生きがいづくり、仲間づくりの輪を広げることを目的に推進する。	自主事業	4	『継続』 サロンサポーターを養成し、住民主体のサロンを全市に展開することができたほか、サロンサポーターのフォローアップ体制を構築することができた。 【H28年度実績 サロン50カ所/延べ32,994名参加】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>計</th> <th>事業数</th> <th>平均点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本計画5</td> <td>12</td> <td>3</td> <td>4.00</td> </tr> <tr> <td>基本計画6</td> <td>12</td> <td>3</td> <td>4.00</td> </tr> <tr> <td>基本計画7</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>4.00</td> </tr> <tr> <td>基本計画8</td> <td>13</td> <td>4</td> <td>3.25</td> </tr> </tbody> </table>	区分	計	事業数	平均点	基本計画5	12	3	4.00	基本計画6	12	3	4.00	基本計画7	4	1	4.00	基本計画8	13	4	3.25
		区分	計	事業数	平均点																						
		基本計画5	12	3	4.00																						
		基本計画6	12	3	4.00																						
基本計画7	4	1	4.00																								
基本計画8	13	4	3.25																								
26 ふれあい・子育てサロン	[2-6-1]ふれあい子育てサロン推進事業 子育てを通し、親同士や地域との交流を図り、地域の仲間づくりの輪を広げることを目的に推進する。	自主事業	4	『継続』 市内4カ所で継続実施することができた。																							
27 ふれあい会食会	[2-8-1]ふれあい会食会事業 地域で生きる一人ひとりを孤立させることなく、誰もが健康で生き生きと安心して暮らせるまちづくりを目指すため、地域住民とふれあい、交流する機会を設けるために実施する。	自主事業	4	『継続』 64町内会で実施することができた。 【H28年度実績/実施町内会64町内会、参加者(対象者)1,026名、参加役員644名】																							
28 共食の取り組み	[事業なし]	連携推進	-	-																							

基本計画	推進項目	実施事業及び活動	実践事業の実績及び評価				総合評価
			H28年度事業名及び内容	事業区分	評価	結果	
7	孤立させない地域づくり	9 地域で孤立させない支援体制の構築	29 高齢者等訪問見守り	[2-12-5]高齢者等訪問見守り・生活支援サービスモデル事業 在宅の一人暮らし高齢者等を対象に、見守りタブレット機器を貸与し、安否確認や買い物・外出支援サービスの提供を行う。	自主事業	4	『継続』 モデル事業として、「吉田・飯塚・長瀬基金」の助成(250,000円)を受け実施することができた。定期的な操作確認、買物支援を総合的に行うことができ、今後の仕組みのあり方の検証につながった。 【H28年度実績/事業協力者10名、タブレット操作件数18,559件】
		10 高齢者、障がい者、児童虐待予防の啓発・周知	30 高齢者、障がい者、児童虐待予防の啓発・周知	[事業なし]	連携推進	-	-
		11 認知症高齢者等を支えるネットワークづくり	31 認知症高齢者など在宅生活を支えるネットワークづくり	[事業なし]	連携推進	-	-
8	防災活動の推進	12 防災に関わる取り組み	32 災害ボランティアセンターの整備・推進	[3-3-2-1]災害ボランティアセンター事業 災害ボランティアセンターは大規模災害時に設置される被災地でのボランティア活動を円滑に進めるための拠点であり、被災した地域の社協を中心に行政との協働により設置されることが多いことから、災害ボランティアセンター設置に向けてマニュアル等を整備・運用する。	連携推進	2	『継続』 災害ボランティアセンター設置に向けた協議を行った。
			33 避難行動要支援者名簿の整備と連携 (小地域ネットワーク活動におけるきずなづくり台帳との連携)	(再掲)[2-4-1-2]小地域ネットワーク事業の推進 小地域ネットワーク活動を実施する町内会を応援する体制整備を進めるとともに、福祉関係団体との連携強化を図る。	連携推進	4	(再掲)『継続』 「きずなづくり台帳」と「きずな安心キット」を活用した平常時から災害を意識した見守り活動として、市、連町、民協、社協の4者合意のもと全市展開をめざし実施することができた。 【累計実績/67町内会、台帳配布4,639枚、キット配布数2,604個】
			34 地域が主体的に取り組む防災研修会の推進	[3-3-2-2]市民の防災・減災力向上支援事業 地域における自主防災活動を支援するため、福祉の視点から情報提供や技術・機材提供等の支援を行う。	連携推進	3	『継続』 町内会等で行う自主防災研修や避難訓練等の実施に際し、炊き出し機材の提供等の支援を行うことができた。 【平成28年度実績: 梶原鉄南連合町内会防災訓練】
			35 関係機関(市や都道府県社会福祉協議会等)との連携強化	[3-3-2]災害時体制整備事業 災害時における市や関係機関との連携体制の構築をめざす。	自主事業	4	『継続』 市防災会議への参画、道社協、胆振管内市町村協との災害時支援協定締結、登別ガス協同組合との災害支援協定締結など関係団体との災害支援の連携強化に取り組んだ。また市と連携し福祉台帳と避難行動要支援者名簿の一本化を図ることができた。

基本目標3 きずなを紡ぎ支える

基本計画	推進項目	実施事業及び活動	実践事業の実績及び評価				総合評価																								
			H28年度事業名及び内容	事業区分	評価	結果																									
9	各種福祉相談に関する総合相談機能強化	36 生活あんしんサポートセンター(福祉何でも相談)の充実	[5-1]生活あんしんサポートセンター事業 生活困窮や引きこもり・孤立・権利侵害などの深刻で多様な生活課題に対応する相談窓口を開設し、福祉相談員による相談援助を行う。	自主事業	4	『継続』 専任の福祉相談員を配置することで、生活全般にかかる多様な相談に対応し、関係機関と連携した支援を行うことができた。 【H28年度実績/相談197件】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>計</th> <th>事業数</th> <th>平均点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本目標3</td> <td>90</td> <td>22</td> <td>4.09</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>計</th> <th>事業数</th> <th>平均点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本計画9</td> <td>29</td> <td>7</td> <td>4.14</td> </tr> <tr> <td>基本計画10</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>3.00</td> </tr> <tr> <td>基本計画11</td> <td>26</td> <td>6</td> <td>4.33</td> </tr> </tbody> </table>	区分	計	事業数	平均点	基本目標3	90	22	4.09	区分	計	事業数	平均点	基本計画9	29	7	4.14	基本計画10	6	2	3.00	基本計画11	26	6	4.33
		区分	計	事業数	平均点																										
		基本目標3	90	22	4.09																										
	区分	計	事業数	平均点																											
	基本計画9	29	7	4.14																											
	基本計画10	6	2	3.00																											
	基本計画11	26	6	4.33																											
	37 生活福祉資金貸付事業	[5-2]生活福祉資金貸付事業 他の貸付制度を利用できない低所得者や障がい者・高齢者世帯に対する相談援助・貸付の手続きを行い、経済的自立と生活安定化を支援する。	自主事業	5	『継続』 複合的な生活課題を抱える相談が増加しており、公的制度の利用促進や制度の狭間を埋める支援を行うことができた。 【H28年度実績/(新規)相談80件、貸付11件、(継続)546件】																										
	38 たすけあい金庫貸付事業	[5-4]たすけあい金庫貸付事業 一時的かつ臨時的な出費のため困窮し他の援助等が受けられない低所得者に対し、応急的経費として貸付ることにより、その世帯の自立更生を促す。	自主事業	4	『継続』 一時的かつ臨時的な出費のため応急的経費として貸付を行うことができた。(貸付滞納額の増加に伴い、H18年度から生保支給までのつなぎ資金に限定) 【H28年度実績/相談73件、貸付59件】																										
	生活困窮者への支援	39 歳末見舞金支給事業	[5-5]歳末見舞金贈呈事業 生活困窮世帯及び障がい者世帯の経済的自立、生活意欲の向上を目的に実施する。	自主事業	4	『継続』 民生委員、障がい者就労支援施設及び児童相談所等との連携により支給対象者を把握し見舞金を贈呈することができた。 【H28年度実績/支給278件】																									
40 応急生活支援事業		[5-6]応急生活支援事業 生活困窮世帯等の経済的自立、生活意欲の向上を目的に制度の狭間を埋めるサービスとして実施する。	自主事業	4	『継続』 制度の隙間を埋める事業として、一定の効果があつた。 【H28年度実績/相談5件(貸出2件、現物支給3件)】																										
41 生活困窮者自立支援事業との連携		[事業無し]	連携協力	3	『継続』 生活あんしんサポートセンターでの相談を通して、生活福祉資金貸付事業や応急生活支援事業とも連携を図り、必要に応じて、市の生活困窮者相談窓口につなげることができた。																										
15	権利擁護体制の推進	42 日常生活自立支援事業	[5-3]日常生活自立支援事業 認知症等により判断能力が不十分な方が地域で安心して生活できるように、福祉サービスの利用援助、日常の金銭管理及び書類の預かり等を支援する。	道社協 委託事業	5	『継続』 福祉サービスの利用援助、日常の金銭管理を行うことができた。初期相談から契約締結までをスムーズに移行できており、解約分を除いた新規契約件数も徐々にではあるが増加傾向にある。 【H28年度実績/契約11件、支援活動件数322件】																									
		43 成年後見センターとの連携	[事業なし]	連携協力	-	-																									
16	総合事業実施に伴う支援体制の構築	44 生活支援コーディネーターの配置	[事業なし]	連携協力	-	-																									
		45 協議体の設置	[事業なし]	連携協力	3	『継続』 協議体が設置され、委員として参画した。																									



基本目標3 きずなを紡ぎ支える

基本計画	推進項目	実施事業及び活動	実践事業の実績及び評価				総合評価		
			H28年度事業名及び内容	事業区分	評価	結果			
10	地域包括ケアシステムの構築	46	生活支援サービスの構築に向けた協議	[事業なし]	連携協力	-	-		
		47	専門機関と地域支援者の協力体制の構築(地域ケア会議への参画)	[事業なし]	連携協力	3	『継続』市、地域包括支援センターとの連携のもと、地域ケア会議に参加した。		
		48	在宅医療・介護連携推進事業との連携及び参加	[事業なし]	連携協力	-	-		
		49	医療・介護・福祉のネットワークづくり	[事業なし]	連携協力	-	-		
10	地域包括ケアシステムの構築	17	地域包括ケアのネットワークづくり	50	シニアボランティアポイント制度(仮称)の検討及び実施	[2-12-1]シニアボランティアポイント制度の調査研究 福祉実践者や福祉専門職、有識者などの参画による調査研究委員会を立ち上げ、元気なシニア世代が活動しやすい環境の整備に向け、活動の有償化やボランティアポイントの仕組みの構築を視野に入れた情報交換や協議・検討を行い、地域の新たな支え合いの創出をめざすことを目的に実施する。	自主事業	5	『終了』福祉実践者や関係者からも多様な意見を聞いたことで、今後の登別でのシニアボランティアポイント制度のスキームを構築できた。北海道社会福祉総合基金助成事業(300,000円)の助成を受け実施した。 【H28年度実績/東京都視察研修(2カ所)、委員会3回開催】
				51	タブレットを活用した見守り体制づくり	[5-7]高齢者等見守り・生活支援サービスモデル事業 公的サービスの対象とならない高齢者等の日常生活の困りごとを地域の支え合いで活動で解決する仕組みづくりに取り組む。	道補助事業 自主事業	4	『継続・検討』「吉田・飯塚・長瀬基金」の補助を受けタブレットによる安否確認と生活ニーズの高い買物支援を組み合わせたモデル事業に取り組むことができた。
				52	移動・買物支援サービス	[2-12-3]移動支援サービスモデル事業 登別済の移動支援サービスの仕組みの構築と全市展開をめざすことを目的にモデル事業を実施する。	自主事業	5	『拡充』観別東小学校区をモデル地区に指定し、校区内の関係者で「移動支援サービスモデル事業委員会」を設置・運営し、買物送迎を校区内のボランティアにより無料で実施した。また、北海道新聞社会福祉振興基金(500,000円)の助成を受け実施した。 【H28年度実績/利用58回、延べ協力者62名、延べ利用者124名】
				53	福祉有償運送サービスの検討	[事業なし]	自主事業	4	『継続』「移動支援サービスモデル事業」を実施を通して検討したが、買物支援を基本に考えると福祉有償運送サービスの展開ではない方法での実施に向けて検討した。
				54	鍵預かりサービス	[2-12-4]鍵預かりサービスモデル事業 ひとり暮らし高齢者等の孤立死などの事故を予防するため、サービスの仕組みの構築と全市展開をめざすことを目的にモデル事業を実施する。	自主事業	4	『継続』登別小学校区、若草小学校区をモデル地区に指定して実施することができた。小規模多機能型居宅介護事業所みずばしよ、特別養護老人ホームわかぐさに協力をいただいた。 【H28年度実績/利用登録者9名、事業協力員70名】

基本目標3 きずなを紡ぎ支える

基本計画	推進項目	実施事業及び活動	実施事業の実績及び評価			総合評価
			H28年度事業名及び内容	事業区分	評価	
11 暮らしを支える福祉事業の実施	19 サービス事業の基盤強化	55 介護者の支援とネットワークづくりの検討	[事業なし]	-	-	-
		56 福祉用具貸出事業	[4-1-2]福祉用具貸与事業 介護保険等の公的制度を利用できない方や、旅行や外泊など一時的に福祉用具が必要な方を対象に福祉用具の貸出を行う。	自主事業	4	『継続』 ケアマネジャー等の専門職と連携し、介護者のニーズに応じた福祉用具の貸与を行うことができた。
		57 福祉車両貸出事業	[4-1-1]福祉車両貸出事業 介護保険等の公的制度を利用できない方を対象に、高齢者や障がい者等、自力での外出が困難な状況にある方を対象に車いすでの乗降が可能な福祉車両の貸出を行う。	自主事業	3	『統合』 利用減少のためH27年度から高齢者等見守り・生活支援サービスモデル事業に統合し買物移動支援を展開した。
		58 通所介護事業	[8-1]通所介護事業 要介護者が住みなれた地域で生活していく事が出来るよう、機能訓練や生活の質の確保を重視した在宅生活が継続できるような支援を実施する。	自主事業	4	『継続』 通所介護及び予防通所介護サービスを提供することができた。今後は中重度の要介護高齢者や認知症高齢者の増加に対応できるサービス提供体制の整備を図り、高齢者の在宅生活を支えるため通所介護サービスの提供を目指す。
		59 居宅介護支援事業	[9-1]居宅介護支援事業 要介護者が住みなれた地域で安心して充実した在宅生活を継続出来るよう、介護保険の申請からケアプランの作成などの支援を行う。	自主事業	4	『継続』 居宅介護支援サービスを提供することができた。
		60 配食サービス	[8-2]配食サービス事業 調理や買い物に困難な高齢者や障がい者及び疾病等により日常の栄養管理を必要とする方に、食事を配達するとともに、安否確認や見守りを行う。	自主事業	4	『継続』 管理栄養士の献立による夕食提供と配達時の安否確認サービスを行うことができた。食事の種類は「一般食」「治療食」「おかず食」とし、市内全域を対象に配達した。治療食は医師の食事箋(指示書)に基づいた食事を提供した。
		61 重度障がい児入浴サービス事業	[7-2]重度障がい児入浴サービス事業 通学等のため日中介護サービスを利用できない重度障がい児を対象に、放課後の時間に入浴サービスを提供し、身体の清潔を保つとともに家族の介護負担軽減を目的に実施する。	市指定事業	5	『継続』 制度の隙間を埋める重要な福祉サービスとして実施することができた。
62 地域活動支援センター	[7-1]地域活動支援センター事業 障がいのある方が自立した生活を送るための社会適応訓練等を提供するとともに創作的活動や交流事業を通じ、仲間づくりや社会参加の促進を図る。	市受託事業	4	『継続』 障がい者の創作的活動・生産活動の機会を提供することにより、社会との交流を促進し、自立した生活を支援することができた。		
63 ファミリーサポートセンター事業	[6-1]ファミリーサポートセンター事業 誰もが安心して子育てできるまちになるように、子育て支援の輪を広げ、地域ぐるみで子育てを支援することを目的に実施する。	市受託事業	5	『継続』 子育てを地域ぐるみで応援する会員互助の子育て支援事業に取り組むことができた。		

基本目標4 きずなを結び深め広める

基本計画	推進項目	実施事業及び活動	実践事業の実績及び評価				総合評価								
			H28年度事業名及び内容	事業区分	評価	結果									
12 ボランティアセンター機能の充実	20 ボランティアコーディネーター機能の充実	64 ボランティアセンターの機能強化	[3-3-1]ボランティアセンター運営事業 ボランティア活動の推進強化を図るため、ボランティア情報の収集・発信、活動のコーディネート等の提供を行う。	自主事業	4	『継続』 ボランティアコーディネーター(専任職員)の配置により、ボランティアセンター運営及び各種事業の企画立案・実施に取り組むことができた。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>計</th> <th>事業数</th> <th>平均点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本目標4</td> <td>44</td> <td>11</td> <td>4.00</td> </tr> </tbody> </table>	区分	計	事業数	平均点	基本目標4	44	11	4.00
		区分	計	事業数	平均点										
		基本目標4	44	11	4.00										
	65 関係機関におけるボランティアコーディネーター力の向上	[3-2]ボランティア活動支援事業 NPO・ボランティア団体、ボランティアアドバイザー、個人ボランティア等の活動が円滑に実施されるよう支援する。	自主事業	4	『継続』 市内のボランティア団体、福祉施設、学校、障がい当事者団体などが一堂に会し、ボランティアをキーワードにつながる機会をつくることができた。また、ボランティア活動の需給調整を行った。										
	66 ボランティア活動の活性化	[3-3-1-3]地域型ボランティアセンター運営事業 ボランティア活動の普及・啓発を図るため、市民が気軽に集える場として地域型ボランティアセンターを開設する。	自主事業	4	『継続』 商業施設等で開設することにより、多くの市民にボランティア活動の情報に触れる機会として、地域型ボランティアセンターの開設に取り組むことができた。										
	21 NPO・ボランティア団体等の活動支援	67 きずなのまちづくり助成事業	[2-1-2]きずなのまちづくり助成事業 きずなの主旨に沿った地域福祉活動やボランティア活動の実践事業に対して、共同募金配分金を活用した助成事業を実施する。	自主事業	4	『継続』 共同募金の財源を活用し審査委員会の審査を実施したなかで、きずな計画の趣旨に沿った実践事業に助成をすることができた。 【H28年度実績/30事業(28団体)に助成】									
68 NPO・ボランティア団体活動支援事業		[3-2-1-1]NPO・ボランティア団体活動支援 個人ボランティアやボランティア団体等の活動に対する相談・助言、調整等を行い円滑な活動を支援する。	自主事業	4	『継続』 ボランティア登録団体や個人ボランティアの活動支援のため、相談調整をはじめ活動室や機材の提供、ボランティア保険加入、印刷機の使用、活動情報の提供に取り組んだ。個人ボランティアにはメーリングリストを活用した情報発信を実施した。										
13 身近な暮らしの情報ネットワークの促進	22 広報啓発の推進	69 社協だより	[2-3-1-1]社協だより作成事業 地域福祉活動の広報を展開し、広く市民に周知を図ることにより、市民主体による福祉のまちづくりをめざす。	自主事業	4	『継続』 社協だよりを年5回継続発行することができた。内容についても地域福祉活動の最新の情報を特集にし発行した。	基本計画12								
		70 ホームページの充実	[2-3-1-2]ホームページ等の運営 各種福祉事業等の情報をインターネット上に公開し、分かりやすく、閲覧しやすい情報の発信を行う。	自主事業	4	『継続』 ホームページを全面リニューアルし、見やすく、わかりやすい福祉情報の随時提供に取り組んだ。また、ホームページだけではなく、フェイスブックを開設し若い世代にもリアルタイムに情報を発信できる体制を整えた。	基本計画13								

基本目標4 きずなを結び深め広める

基本計画	推進項目	実施事業及び活動	実施事業の実績及び評価				総合評価			
			H26年度事業名及び内容	事業区分	評価	結果	基本計画	12	3	4.00
		71 福祉活動の情報発信	[2-3]広報啓発事業 地域福祉活動の広報を積極的に展開し、広く市民に周知を図ることにより、市民主体によるまちづくりをめざす。	自主事業	4	『継続』 社協だよりの発行のほか、きずな共育情報誌、ボランティア情報誌ほつなどを発行した。	基本計画 14	12	3	4.00
14 関係機関とのネットワーク	23 地域における公益的な活動の一層の推進強化	72 社会福祉法人の地域貢献活動に関する連携	[事業なし]	連携協力	-	-				
	24 きずなを推進するためのネットワークの強化	73 関係機関との連携強化	[2-2-1-3]各種関係機関団体との連携と委員会等への参加 地域福祉活動に関わる各種関係機関、団体との連携を図り、会議・委員会等へ参加協力等を行う。	自主事業	4	『継続』 様々な福祉関係団体等と連携を図り、各種会議、委員会等に積極的に参加することができた。				
		74 登別市民生委員児童委員協議会との連携強化	[5-8]民生委員児童委員活動推進事業 市民児協の事務局業務を社協が担うことにより、社協活動と民生委員児童委員活動の密接な連携体制のもと地域福祉の推進に取り組む。	自主事業	4	『継続』 本会地域福祉課生活支援係において登別市民生委員児童委員協議会事務局を所管した。				
		75 町内会との連携強化	【再掲】 [2-1-1-1]きずな推進委員会の運営 きずな策定と市民主体による福祉のまちづくりをめざし、きずな推進委員会を中心に第3期計画を推進する。	自主財源	4	『継続』 きずな推進の中核である町内会との協働体制を構築した。町内会の参加促進を進めるため、社協だよりで町内会加入促進のためのPR記事を掲載した。				
		76 障がい者の就労・社会参加等に関する連携強化	[事業なし]	連携協力	-	-				

基本目標6 きずなを高め保障する

基本計画	推進項目	実施事業及び活動	実践事業の実績及び評価			総合評価
			H28年度事業名及び内容	事業区分	評価	
15 社協の基盤強化	25 社協組織体制の強化	77 社協理事会・評議員会の推進強化	[1-1]社会福祉協議会活動の推進 市民に期待され信頼される地域福祉活動等の推進を図るため、社協組織や財政及び事務局体制等の基盤強化に取り組むとともに、社会福祉法人としての適切な運営と事業の推進強化を図る。	自主事業	4	『継続』 社会福祉法の改正を踏まえ、理事会、評議員会の体制を整理し、事業推進強化を図る体制を整備することができた。
		78 社協事務局体制の充実・強化	[1-2]法人運営の推進・強化 市民に期待され信頼される地域福祉活動等の推進を図るため、社協組織や財政及び事務局体制等の基盤強化に取り組むとともに、社会福祉法人としての適切な運営と事業の推進強化を図る。	自主事業	4	『継続・検討』 市の支援等により社協事務局体制の整備に取り組むことができた。
		79 公的施設等の指定管理者制度や民間移譲に係る検討	[事業無し]	-	-	-
	26 苦情・評価体制の強化	80 苦情解決体制の推進	[1-2-7]苦情解決体制の推進強化 市民、利用者等からの苦情の適切な解決を図り、利用者等の権利を擁護するとともに、本会が実施する事業の質の向上及び運営の信頼性を高めることを目的に、苦情解決体制の推進強化を図る。	自主事業	4	『継続』 第3者委員を選任し苦情解決体制の推進強化を図ることができた。
		81 社協事業評価の推進	[事業無し]	自主事業	4	『継続』 第3期きずな計画から、毎年度全市計画、校区計画の評価を行うこととなった。
	16 財政基盤整備	27 きずなを推進するための財源確保に向けた取り組み	82 社協会員加入促進の強化	[1-3]会員費制度推進事業 市民参加による地域福祉活動の推進をめざし、社協活動に対する市民の理解と参加を求め積極的な活動財源の安定確保に取り組む。	自主事業	4
83 社会福祉基金の造成			[1-2-8]社会福祉基金造成事業の実施 福祉需要の増大に伴い、地域福祉事業、在宅福祉サービスの拡充と安定した事業継続を図るため、町内会をはじめとする地域関係者の協力により社会福祉基金造成事業を市内3地区で実施する。	自主事業	4	『継続・検討』 地域関係者の参加・協力により地域の特色溢れる基金造成事業に取り組むことができた。
84 新たな財源確保に向けた取り組みの検討			[1-2-9]自主財源に向けた取り組みの実施 様々な方法で市民が登別の地域福祉活動を応援できるように、また、社協PRの一環として各種取り組み(カレンダーリサイクル市、愛の小箱設置等)を推進する。	自主事業	4	『継続』 各種団体と連携したチャリティー事業の実施や企業・商業施設との協働により、カレンダーリサイクル市やガチャガチャ募金の実施など、新たな募金スタイル導入による財源確保に取り組むことができた。

  

区分	計	事業数	平均点
基本目標5	49	12	4.08

  

区分	計	事業数	平均点
基本計画15	16	4	4.00
基本計画16	17	4	4.25
基本計画17	12	3	4.00

基本目標6 きずなを高め保障する

基本計画	推進項目	実施事業及び活動	実践事業の実績及び評価				総合評価				
			H28年度事業名及び内容	事業区分	評価	結果					
	28 共同募金委員会との連携	85 共同募金運動への協力	[1-5]登別市共同募金委員会事務局の運営 社協・共募の密接な連携のもと共同募金運動を進めるため、登別市共同募金委員会との業務に関する申し合わせに基づく事務局の運営を行う。	自主事業	5	『継続』 共同募金委員会と連携を図りながら、地域福祉活動の財源である共同募金運動を広めることができた。	<table border="1"> <tr> <td>基本計画 18</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>4.00</td> </tr> </table>	基本計画 18	4	1	4.00
基本計画 18	4	1	4.00								
17	地域福祉を推進するための職員の配置と資質向上	29 職員の資質向上	86 地域福祉コーディネーターの人員確保と業務の推進	[2-2-1-1]地域福祉コーディネーターの配置と地域福祉事業運営 きずな計画に基づき、市内5福祉圏域(中学校区)ごとの地域福祉コーディネーター設置を進める。これによりきずなの推進をはじめとする地域福祉全般の活動向上を図り、地域福祉事業を推進する。	自主事業	4		『継続・検討』 地域福祉コーディネーター3名を配置することができた。(現状維持)			
			87 ボランティアコーディネーターの人員確保と業務の推進	[3-3-1-1]ボランティアコーディネーターの配置とセンター運営 ボランティアコーディネーターを配置し、市民のボランティアに対する理解と関心を高め、活動者の育成及び支援などを行うとともに、ボランティア相互の連携を密にして、心豊かなボランティア活動の広がりをめざす。	自主事業	4		『継続』 ボランティアコーディネーター1名を専属配置し、最低限のボランティア活動を振興することができた。			
			88 社協職員に対する研修の充実	[1-2-3]職員スキルアップ研修の実施 全職員を対象に、社協職員としての心構えや職務に必要な知識や技術の習得、職場内における連携強化などを目的とした研修を行う。	自主事業	4		『継続』 職場内の災害時の体制をテーマに職員間のスキルアップ研修を開催することができた。			
18	地域福祉実践計画の進捗管理と地域福祉計画との連携	30 市の福祉施策との連携・協働	89 めくもりある福祉基本条例及び市地域福祉計画との連携	[事業無し]	連携推進	4		-			
			31 市民ニーズの把握	90 市民福祉アンケート調査等	[事業無し]	-		-	-		
			32 きずな計画の評価及び策定	91 第3期きずな計画の評価及び第4期きずな計画の策定	[事業無し] ※第3期きずな計画5カ年終了時点の評価として整理	-		-	-		

